

## 平成19年度「府中市学力向上のための調査」等の結果活用計画

## 広谷小学校

学力向上に効果があったと考察できる改善内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かかわり発言」(友だちの意見を聞いて自分の考えを述べる)を指導することで、自分の考えをもととする児童が増えた。</li> <li>・昨年度、ことばのパイロット校として言語技術の活用に取り組み、授業の中で自分の考えを説明を工夫したり、整理したりする方法を指導してきた。このことが、数学的な考え方や書く力の向上につながったと考える。また、論理的思考力・表現力を高めるために、自力解決では自分の考えを整理して書く、まとめの時間には学習したことを自分でまとめなおして書くという書く活動に取り組んできた。</li> </ul>	
「府中市学力向上のための調査」における重点課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む(読む・書く)力」(文脈に即して読み、自分の考えやまとめを書く)・・・情報を分析する力</li> <li>・「数学的な考え方」(文章題の問題把握)・・・文章の内容や問題場면을的確に把握する力</li> <li>・「豊かな心」(自己責任)・・・責任をもってやりぬく力</li> <li>・「社会参画力」(きまりを守る)・・・きまりや規則を守ろうとする意識</li> <li>・「問題解決力」(調べたり、まとめたりする)・・・「なぜ、どうして」という問題を追求する意欲</li> </ul>	
「基礎・基本」定着状況調査、全国学力・学習状況調査における重点課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎・・・「読むこと」の領域では、場面の状況や時系列の読みとりが不十分である。</li> <li>◎・・・「書くこと」の領域では、文章の構成力と理由の正確さに課題がある。</li> <li>◎・・・「考え方」や「知識理解」の領域では図形や広さの概念が十分理解できていない。</li> <li>◎・・・設問15では、具体(表)から一般化するための論理力が不十分である。</li> </ul>	



学校全体の重点課題
<p>読む力・・・段落相互のつながり、文章の全体から部分を取り出し、情報を適切に分析する力</p> <p>数学的な考え方・・・文章から条件を取り出し、整理する、筋道を整理して答えを求めていく力</p> <p>社会参画力・・・学校のきまりや規則を守ろうとする意識</p> <p>問題解決力・・・自分の考え方や調べたことを分かりやすく整理し、伝える力</p>

学校全体の重点課題からうかがえる、これまでの授業の問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題や場面把握での手立てが不十分であった。</li> <li>・児童の思考が深まるような切り返し発問が精選されていなかった。</li> <li>・考えを整理して書かせるノート指導が不十分であった。</li> <li>・発言が、つなぎ発言にとどまり、十分ねらいに迫るためのかかわりあう発言になっていなかった。</li> <li>・聞かせることへの意識の持たせ方や、何を聴き取るのかという視点の与え方があいまいであった。</li> <li>・自主学習への取り組みを含め、課題解決の方法や習熟させるための取り組みが不十分であった。</li> </ul>



## 2学期からの具体的な改善策

## ○授業展開の改善

- ・課題・問題把握、自力解決
  - ・・・確実な問題把握、読み取りのために、問題や課題を図や、絵や言葉に置き換えさせる。
- ・切り返し発問
  - ・・・ねらいに迫るための発問、児童の思考をゆさぶるための発問を用意する。(なぜ、どうしてを深めさせる)

## ○研究内容に関わる取り組みの改善

- ・思考を深めるための発言
  - ・・・友だちの発言に対して意見を述べ、自分の考えをつなげる。
- ・聴かせる手立て
  - ・・・聴かせる視点を明確にする。

## ○学習ノート指導の改善

- ・自力解決場面
  - ・・・自分の考えを、簡潔に要点をまとめて書かせる。書く活動の重視。
- ・練り上げ場面
  - ・・・友だちの意見や授業のポイントとなることをメモさせる。

## ○家庭学習指導の改善(自主学習の充実)

- ・主体性の確立
  - ・・・自主学習の価値付けをする。計画を立て実行させる。
- ・内容の充実
  - ・・・予習、復習、自己課題、調べ学習等の幅広い内容に取り組ませる。
  - ・モデル・題材の提示ー自主ノートを紹介する。